

7 セクシュアリティと性的行動

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

7.2 性的行動と性的反応

学習目標 (5～8 歳)

キーアイデア：

- ・ 生涯を通じて、自分のからだや他者と親しい関係になることを楽しむのは、人間として自然なことです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 身体的なよろこびや興奮は人間の自然な感情であり、これには他人との身体的な親密さも含まれうることを理解する。(知識)
- ▶ 身体的感覚を表すたくさんの言葉があり、その中には、他者にその感覚を示したり、他者との距離を縮めたりすることに関係するものもあることを理解する。(知識)
- ▶ 他人への感情や親近感の表現方法には、適切な言葉や行動と不適切な言葉や行動があることを認識する。(態度)

学習目標 (9～12 歳)

キーアイデア：

- ・ 人間は生まれながらにして、生涯にわたってそれぞれのセクシュアリティを楽しむ能力を持っています。

学習者ができるようになること：

- ▶ セクシュアリティには、他者に感情的・身体的に魅力を感じる事が含まれていることを理解する。(知識)
- ▶ 人間が生涯を通じて、身体的な接触(例：キス、ふれあい、愛撫、性的接触)によってよろこびを感じるさまざまな方法を説明する。(知識)
- ▶ セクシュアリティは人間の健康にかかわる一部であることに気づく。(態度)
- ▶ 同性に魅力を感じる人、同性に魅力を感じると思われている人を差別することは、間違ったことであり、その差別はそれらの人々に悪影響を及ぼす可能性があることを認識する。(態度)
- ▶ さまざまな性的感情を伝え、理解し、適切な方法でセクシュアリティについて話す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ セクシュアリティについて好奇心を持つのは当然のことであり、信頼できる大人に質問することは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ セクシュアリティに興味を持ち、疑問を持つのは自然なことであると認識する。(態度)
- ▶ 一緒にいて居心地のいい信頼できる大人を見つけ、セクシュアリティについて実際に質問してみる。(スキル)

学習目標 (12～15 歳)

キーアイデア：

- ・ 性的な感情、想像、欲望は自然なものであり、生涯を通じて起こるものですが、人はいつもそれらの感情に基づいて行動することを選択しているわけではありません。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティを表現する方法を列挙する。(知識)
- ▶性的な感情や想像、欲望は自然なものであり、恥ずべきものではなく、生涯を通じて起こることを述べる。(知識)
- ▶すべての人が性的な感情や想像、欲望を行動に移すことを選択するわけではない理由を説明する。(知識)
- ▶セックスへの興味は年齢とともに変化し、生涯を通じて表現される可能性があるとして述べる。(知識)
- ▶文化や状況を超えて人がセクシュアリティを表現するさまざまな方法を尊重することの重要性を理解する。(態度)
- ▶性的な感情や想像、欲望に関連した感情を上手く扱う方法を示す。(スキル)

学習目標 (15～18 歳以上)

キーアイデア：

・セクシュアリティは複雑なものであり、生涯にわたって発達する生物学的、社会的、心理的、精神的、倫理的、文化的な側面を含みます。

学習者ができるようになること：

- ▶セクシュアリティの複雑さや、それがどれほど多面的で、生物学的、社会的、心理的、精神的、倫理的、文化的な要素をどのように含むのか説明し、分析する。(知識)
- ▶セクシュアリティは人間の自然な一部であり、幸福を高めることを認識する。(態度)
- ▶自分のセクシュアリティとそれに影響を与える要因について考える。(スキル)

7 セクシュアリティと性的行動

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

7.2 性的行動と性的反応

学習目標 (5～8 歳)

キーアイデア：

・人はふれあいや親密さを通して、他の人に愛情を示すことができます。

学習者ができるようになること：

- ▶キス、ハグ、ふれあいを含むさまざまな方法で、時には性的行為を通して、愛情や思いやりを示すことができると述べる。(知識)

キーアイデア：

・子どもたちは、何が適切で何が適切でないタッチなのかを理解すべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶「いいタッチ」と「悪いタッチ」を定義する。(知識)
- ▶子どもへのタッチには、いくつかの悪い方法があることを認識する。(態度)
- ▶もし誰かが悪いタッチをしてきたらどうするかを示す。(スキル)

学習目標 (9～12 歳)

キーアイデア：

・人には、性的刺激（身体的または心理的）によって身体的な反応が生じうるという性的反応のサイクルがあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的刺激に対する男性と女性の反応を説明する。(知識)
- ▶ 思春期の男子と女子は、性的魅力や性的刺激に対する反応をより強く意識するようになると述べる。(知識)
- ▶ 多くの男子と女子が、思春期か、もしくはそれより早い時期にマスターベーションをしはじめることを説明する。(知識)
- ▶ マスターベーションは身体的、または感情的に害を及ぼすものではないが、一人になれる空間で行うべきであることを認識する。(知識)

キーアイデア：

・セックス（性行動）を遅らせるかどうか、性的に活発になるかどうかなど、性的行動について情報に基づいた判断ができることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ セックスを遅らせたり、性的に活発になったりすることを選択することのメリットとデメリットを比較対照する。(知識)
- ▶ 禁欲とは、セックスをしない選択をすること、またはセックスをいつ、誰と、初めてするかを自ら決めることを意味し、妊娠や HIV を含む性感染症を防ぐ最も安全な方法であることを理解する。(知識)
- ▶ セックスや人間関係に関連した決定が、自分の将来設計にどのような影響を与えるかを考える。(態度)

学習目標（12～15 歳）

キーアイデア：

・性的反応のサイクルとは、性的刺激に対するからだの生理的な反応のしかたに関するものです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的刺激には身体的・心理的な側面があり、人によって反応のしかたやタイミングが異なることを理解する。(知識)
- ▶ 性的な反応は、病気、ストレス、性的虐待、薬物治療、薬物乱用、トラウマなどの問題によって影響を受ける可能性があることを認識する。(態度)

キーアイデア：

・社会や文化、世代ごとに性的行動に関する迷信があり、事実を知ることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的行動に関する情報に触れたときに、迷信と事実を区別する。(知識)
- ▶ セクシュアリティに関する事実を知ることの重要性を理解する。(態度)
- ▶ 性的行動に関する迷信に問題意識を持つ。(スキル)

キーアイデア：

・性的行動について情報に基づいた判断ができることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 情報に基づいて性的な意思決定をすること（性的に活発になるか、もしなるのなら、いつ、誰とするのかを決める際に、情報と自信を十分に持っていること）が、自分の健康と幸福にとって重要であることを認識する。(態度)
- ▶ 性的に活発になるかどうかの決定は、人それぞれの個人的なものであり、時間の経過とともに変化する可能性があり、常に尊重されるべきものであることを認識する。(態度)
- ▶ 性的行動について責任ある決断をする。(スキル)

キーアイデア：

・健康や幸福に強い悪影響を及ぼす可能性のある性的行動のリスクを回避したり、最小限に抑えたりするさまざまな方法があります。

学習者ができるようになること：

- ▶性的行動に伴うリスクを最小限に抑え、自分のライフプランを支えるための実行可能な選択ができることを説明する。(知識)
- ▶コンドームやその他の避妊具は、性的行動の意図しない結果（例：HIV、性感染症、妊娠）のリスクを低減することを説明する。(知識)
- ▶挿入をしない性的行為は、意図しない妊娠のリスクがなく、HIVを含む性感染症のリスクも減り、よろこびのあるものになりうると再認識する。(知識)
- ▶性的行動に伴うリスクを最小限に抑え、ライフプランを実現するための選択肢があることを認識する。(態度)
- ▶自分の性的行動について十分な情報に基づいた選択をする。(スキル)

キーアイデア：

・性的快楽と金銭や物品を交換する取引的な性的行為は、健康や幸福を危険にさらす可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶取引的な性的行為を定義する。(知識)
- ▶取引的な性的行為に関連するリスクについて説明する。(知識)
- ▶金品の取引を伴う親密な関係は、脆弱性を高めうる不平等な力関係を増大させ、より安全なセックスを交渉する力を制限させうることを認識する。(態度)
- ▶取引的な性的行為を拒否するための積極的なコミュニケーションと断り方のスキルを示す。(スキル)

学習目標（15～18歳以上）

キーアイデア：

・性的行動をとることは楽しいと感じられるべきであり、それには自分の健康と幸福に対する責任が伴います。

学習者ができるようになること：

- ▶性のよろこびと責任について重要な要素をまとめる。(知識)
- ▶多くの人が、人生の中で、他人と性的な接触をしない時期があることを再認識する。(知識)
- ▶なぜ、よいコミュニケーションが、性的関係を高めうるのか根拠を示す。(知識)
- ▶ジェンダー規範やジェンダースtereotypeが、人々の性のよろこびへの期待や経験にどのような影響を与えているかを考える。(知識)
- ▶自分のからだの性的な反応を理解することは、自分のからだを理解することに役立ち、どこかが適切に機能していない時に気づく助けにもなり、それによって援助を求めることができると認識する。(知識)
- ▶意図しない妊娠やHIVを含む性感染症の予防には、性的パートナーの両方に責任があることを認識する。(態度)
- ▶性的なニーズや限度を伝える。(スキル)

キーアイデア：

・性的意思決定には、意図しない妊娠やHIVを含む性感染症を予防するためのリスク低減方策を優先的に考える必要があります。

学習者ができるようになること：

- ▶意図しない妊娠や性感染症の予防に不可欠なリスク低減方策を分析する。出産時や、性的虐待、無防備なセックスによってすでにHIVを含む性感染症に感染している場合は、他者への感染を減らすための方策を含む。(知識)

- ▶ 金品の取引を伴う関係では、より安全なセックスへの交渉力が制限される可能性があることを再認識する。(知識)
- ▶ 意図しない妊娠や HIV を含む性感染症のリスク、またはこれらへの感染を減らすための選択肢があることに気づく。(態度)
- ▶ 妊娠や HIV を含む性感染症の感染や性感染症の他者への感染を防ぐため、リスク低減方策を検討し、適用する。(スキル)